

岩槻駅前に懸垂幕が登場！！



目白大学同窓会では、岩槻キャンパス開学10周年記念事業のひとつとして、今回の懸垂幕を設置する運びとなりました。

岩槻キャンパスは、開学当初から市民の皆さんのご理解とご協力をたくさん頂きながら、10年間を歩んできました。

そこで、この10年間の感謝の気持ちを懸垂幕という媒体を使って、多くの市民の皆さんに伝えたい……。そんな思いから、株式会社東玉様の協力を得て設置することが出来ました。

同窓生の皆さん、岩槻市の近くを訪れた際には、是非岩槻駅に立寄って、懸垂幕をご覧になってください。11月2日まで見ることができます。

目白大学同窓会定例総会開催のお知らせ

日時：平成15年11月2日(日)13時より

場所：岩槻キャンパス2号館2201教室

総会での議事内容(予定)

第1号議案：
課外活動奨励金授与対象団体等の選考について

第2号議案：
平成15年度 事業報告について

第3号議案：
平成15年度 決算報告及び会計監査報告

第4号議案：
平成16年度 事業計画(案)について

第5号議案：
平成16年度 予算案について

毎年、激しい討論が展開される総会です。今回も目白大学のこれからのために、熱意のこもった参加をぜひお願いいたします。



昨年度の総会の様子

11月1・2日は第10回桐葉祭開催！！

今年も、学生会館のゲストルームに「卒業生の部屋」がオープン！

遊びに来てくれた卒業生の為の部屋です。学生時代を懐かしんで、みんなでおしゃべりしたり、仲間同士で連絡を取合って、待ち合わせの場所等に利用してください。



また、今年の「卒業生の部屋」は、小さなお子さんが遊べるスペースや授乳室等、小さなお子様と一緒に来場された方々の為のスペースを設けました。お子様を目の届くところに遊ばせて、学生時代の仲間と語り合いたい卒業生のパパ、ママの皆さん、是非、ゲストルームをご利用ください。

(参考) 昨年度の「卒業生の部屋」来場者数

1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	合計
33名	29名	49名	33名	53名	197名

10周年記念パーティー開催

同窓会では、目白大学開学10周年という節目の年に、開学記念パーティーと銘打ってパーティーを開催します。学生時代の仲間やお世話になった教職員の方々など、懐かしい顔が勢揃いします！！皆さんお楽しみに！！

(日時) 11月2日(日) 15:30~17:30
15:00受付開始

(会場) 体育館にて

参加費無料です

当日はカジュアルな
服装でお越し下さい



碁は人生を豊かにする

元言語文化学科教授 田川五郎



イラスト：角田昌一（2期生）

目白大學を今春退職して、唯一心残りだったのは学生諸君に囲碁の楽しさを教えられなかったことである。学内に囲碁クラブを作ろうという計画は一時あった。四年ほど前、韓国の留学生A君が研究室にやってきて、「囲碁会を作ろうと思って仲間を集めているのですが、顧問になっていただけませんか」と頼みに来たのである。「それはいい。喜んでやるよ。ところで君はどのくらいの腕前だ」と聞くと、「初段程度です」と言うので、さっそく対局してみた。

私は日本棋院三段の免状を持っている。しかし段位というものはかなりいい加減なもので、同じ段位でも強い人もいれば弱い人もいる。あるとき三段と称する某教授が挑戦してきたので、さっそく手合わせしてみたら、そのへボなこと。何回やっても勝てず、やがてすごと引き揚げ、二度とやろうと言わなくなった。彼の免状は、多分金で買った？ニセモノじゃないかと疑っている。

A君は初段だという。それなら当然私が楽勝するはずと気楽に始めたら、意外に手強く徹底的にやられた。気を引き締めてもう一度やったら、それも惨敗。これはおかしいぞと思い、話を聞いて

みて納得した。

日本ではアマチュアの初段とプロの初段とでは、その実力は天地ほどの開きがある。アマで七、八段と威張っている人でも、プロの初段にはコロリと負けるのが普通である。しかし韓国の段位はアマとプロの区別が全くないそうだ。だからA君の韓国で得た初段は、日本ではアマ七段程度の力に相当する。これでは私が惨敗するのは無理もない。聞けば彼は一時、プロをめざして真剣に勉強した時期があったとか。

これほどの「名人」が目白大学にいと知って嬉しかった。しかし囲碁クラブ創設の話は、残念ながらその後複雑な事情があって、大学当局の許可をもらえず、ついに陽の目を見なかった。もっと私自身が奔走して実現に力を貸せばよかったのにと、いまも反省している。

囲碁はゲームとして抜群の面白さがあるばかりでなく、想像力を養い、発想を柔軟にし、集中力を高め、人格を磨く...などさまざまな効用がある。何よりも年齢、地位に関係なく大勢の友人ができるのがいい。

いま目白学園では、真仁田短大副学長を中心に

十五人の教職員（OBを含む）が、毎月一回かならず集まって烏鷲の争いに熱中している。この夏東京で開かれた全国大学教職員囲碁大会にも出場して、強敵日大を破る金星を挙げた。大学を退職した私が、いまだに目白の方々と太い縁でつながっているのは、碁のお陰である。

囲碁を始めたのは、就職して三年目、二十五歳のときだった。もっと早く覚えればよかったと後悔したが、それでも三段に進み、さらに四段、五段をめざして腕を磨いている。皆さんもいまからでも決して遅くはない。なるべく早く碁を覚えなさい。それは多くの友を得るきっかけになり、長い人生を必ず豊かなものにしてくれるから。

岩槻キャンパス在籍七年間を顧みて

干川儀一

同窓生の皆様お元気ですか、各自それぞれの社会に身を挺し、学生時代までに育まれた知識や技能を駆使してすばらしいご活躍をなさっておられることと信じ大慶に存じます。同窓会から会報への原稿執筆のご依頼を頂戴致し、懐かしさと嬉しさで、今ここに原稿をしたためている次第です。小職が目白大学岩槻校舎に在職して学生諸君と接触できました期間は、平成六年四月から平成十三年三月末までの七年間ですが、その時々思い出が甦って参ります。学生諸君との交流は基より、岩槻市長始め市の企画行政課や厚生課、スポーツ振興会等々の皆様のご指導やご協力を得たこと、鈴木匠氏との二人三脚で獨協大学や文教大学、日本工業大学の諸先生方にアプローチし学生交流の支援を戴いたり、地元の各自治会からのご支援を戴き地域の方々と一体となり大学造りに奔走したことです。

私が人文学部との関りは平成五年四月から始まります。当時目白女子短大の教務課長の時、理事長先生から大学開設準備委員を兼務することを命じられ、林先生や川田先生と第一回目の学生募集要項、応募要項の作製、合わせて平成六年開学の準備としての学生便覧・学生さんが諸手続きをするための各帳票類の作成、各行事の年間計画の策定等々目の廻るような年でしたが充実していました。

同年三月十五日に、岩槻校舎に移転し、胸膨ら

ませて開学準備に取り掛かりました、このような大学造りを経験させて戴く好機はそうそう遭遇することはありません。四月は入学式、オリエンテーション、フレッシュマンセミナー、授業開始となり大学として始動しましたが、学部生三百二十名の諸君と教職員が一丸となって地域に根ざし開かれた大学を造ろうと頑張りました。連続講演会40回の実施、その後はスポーツフェスティバル、夏休み中の学友会の組織化、クラブの創設、そして「なんとしても開学年度から学園祭を」と



の学生諸君の強い希望により十二月に桐葉祭の名の基に学園のお祭りを実施して盛会に終了したことでした。また二期目の学生受け入れの入試準備をし、一期生の支援のもと推薦入試、一般入試・期と実施し、ここで新に学生諸君を迎え

二年目の開始、そしてその後も順調に学生諸君が入学され、完成年度には千三百人体制が確立され、大学としての体制が整ってきました。

人文学部の学生諸君は、人懐っこさのある反面フロンティア精神の強い方が多く、何事にも積極的に対応するすばらしいエネルギーを持っていて、各行事の前には必ず教職員と学生が寝食をともにしての合宿をし、それぞれの団体が目的達成のため真剣に夜を徹して議論したことが懐かしい思い出です。

時が過ぎて、二年目以降教職教育課程の設置、学部の上に大学院（国際交流研究科、修士二専攻）の設置申請業務、留学生別科の設置申請等々矢継ぎ早の大学改革がなされ、意義ある岩槻キャンパスでの七年間が過ぎ去りました、平成十三年四月から十五年三月まで新宿キャンパス心理カウンセリングセンター勤務、四月からは自由な身として、晴耕雨読とまでは行かないまでも残りの人生をエンジョイしています、これも学園でお世話になったおかげと感謝しております。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝とご活躍、そして同窓会が益々発展充実し、在学生諸君の礎となり、目白大学の未来永劫の発展をご祈念申し上げ、合わせて十周年記念行事のご成功をお祈り致しております。

100メートルの長い廊下を走り回っています

鳥羽洋美（3期生）

卒業して二年半が経ちましたが、みなさんお元気でしょうか？

私は現在、川口市にある老人保健施設で介護職として働き、毎日充実した日々を送っています。

実は、新卒で入社した会社は、経営不振により一年で退職しました（俗に言う「リストラ」ですね）。前の会社では内勤営業のような形で朝9時から日付が変わる頃まで一日中パソコンに向かっていたのですが、今は100メートルの長い廊下の



2003年2月、友人の結婚式にて
右が鳥羽さん、左が同期の永瀬(旧姓中島)さん

ある施設を走り回っています。

介護の職に就こうと思ったきっかけは単純なことでした。失職後、すぐに転職活動を始めましたが、面接しても不合格ばかり。女性でも長く働ける専門職で対人の仕事をしたい、と漠然と考えていたものの、答えは見つからず、「本当にやりたい仕事はなんだろう？」と、悩む日々が続きました。

そんな中、行き当たったのが介護の仕事でした。

しかし、この仕事に就くには、ホームヘルパー二級以上の資格が必要だったのです。資格を持っていなかった私は、一時あきらめかけましたが、幸いなことに一ヶ月で取得できる専門コースがあることを知りチャレンジしました。その結果、無事資格を取得でき、幸運にも現在の職場に落ち着きました。

しかし、施設のオープンスタッフということで最初は大変なことの連続でした。しかも、未経験者ばかりを集めた施設なので、まさに暗中模

索という状態が続きました。初めは設備もなく、利用者を増やしながら必要物品を段々揃えていった状況でした。

最初の3ヶ月はほんとに無我夢中でしたが、利用者数名のところから始めた事で、いろいろなことが見えてきた気がします。

まずこの仕事を教えてくれるのは、経験豊かなスタッフではなく、利用者であるおじいちゃんおばあちゃんであること。要望を言ってくれる利用者さんの声に耳を傾け、介助していくといろいろなことを学べます。オムツのあてかたからズボンや下着のはかせかたなど、細かいところも希望を聞きながらやったことで、その方だけでなく意見を言えない方の介助も変わっていきました。

最近は、感謝の言葉をたくさん頂けるようになってきました。気配り目配り心配りが大切な仕事ですが感謝されることも多いので充実しているようです。

今回こうして文章にしたことで、初心を思い出すことができました。この気持ちを忘れずに、仕事に励みたいと思います。

お店を訪れてくれる友人達が仕事の励みです

川中康太郎（2期生）

第二期卒業生の川中です。先生方、先輩・後輩・同期の皆さんお元気でしょうか。私の大学生活は、振り返ってみるとあつという間でした。正直に告白しますが、大学では全くといってよいほど勉強はしませんでした。勉強した記憶がないくらいです。

大学に行くと、すぐに二号館の喫煙所へ行き、ベンチに座ってお喋りをしたり、寝てばかりいました。寝過ぎて起きると夜7時をまわっていて、周りに誰もいなかった、なんてこともありました。また講義中には居眠りやお喋りばかりし、注意されると文句を言って教室を出ていったりと、先生方には大変ご迷惑をお掛けしました。私が出席した講義の全ての先生方、講義の邪魔ばかりして申し訳ありませんでした。この場を借りてお詫びしたいと思います。そして担任の梅津先生には、在学中いろいろと親身になっていただきました。本当にありがとうございました。

そんな学生生活を送った私も社会に出て、運送会社、電気店で働いた後、今年一月半ばからラーメン店を営んでいます。昔からラーメンが大好きだったうえ、今まで経験のしたことのないことに魅力を感じて、サラリーマンから転身してしまいました。フランチャイズに加盟しての店舗の為、あまり偉そうなことは言えませんが、朝11時か

ら夜は深夜1時過ぎまで、毎日へろへろになりながらも、経営者として日々、お店を切り盛りしています。人手が足りなくて休みが全然取れず、もう半年近く休んでいません。今、現在も休みを取れる予定が立っていませんが、毎日気力を振り絞って頑張っています。

多忙な日々を送っているなかで唯一の楽しみは、大学時代から仲の良い友人達が私のお店に足を運んでくれることです。大学時代を思い出した



最近、全然休みがなくて本当に大変です。

り、お互いの近況を語り合ったりする時は、とても心が和みます。結婚した友人も増え、中には子供を連れてきてくれる人もいます。こうしてお店を訪れてくれる友人達は、私にとって大きな財産であり、仕事の励みにもなっています。

拙文を読んで、お店に行きたい、という方がいましたら、大歓迎します。お店の名前は「らあめん花月嵐 大宮風渡野店」です。国道16号線から県道2号線(旧16号線)を大宮方面へ曲がって500mぐらいのところにあります。岩槻インターから結構ほど近いところと言った方が、分かり易いでしょうか。同窓会関係の方にはサービスいたしますので、是非、お越しください。ご来店をお待ちしております！

鳥羽さん、川中さん。お忙しい中、原稿の執筆ありがとうございました。また、私も原稿を書きたい！という方がいらっしゃいましたら、是非、同窓会までご連絡していただくと幸いです。

同窓会オリジナルホームページが完成しました！

<http://www.mejiro-dousou.org/>

やっぱりオリジナルじゃなきゃっ！！

目白大学同窓会のオリジナルホームページが完成しました。同窓会の活動状況を広く知って頂くのはもちろん、同窓生のための総合情報ホームページを目指します。今までは目白大学ホームページに間借りしていたのですが、そのため大学に更新の手間をお願いしていました。しかし「できることは自分たちでやっていこう！」と一念発起。ようやくオリジナルホームページの完成にこぎ着けました。

今後は下のような位置づけになります。

- ・目白大学ホームページ (<http://www.mejiro.ac.jp/>) の「同窓生のみなさんへ」
- ・同窓会ホームページ (<http://www.mejiro-dousou.org/>)
- ・大学から同窓生へのお知らせ
- ・同窓会から同窓生へのお知らせ



ホームページに関する
お問い合わせは、同窓会
事務局広報委員会まで！

kouhou@mejiro-dousou.org

(左は開発中の画面です)

目に見える同窓会活動

同窓会では一年の起点を「総会」において活動しています。「議事録」や「会報」、または同窓会が関わったイベントなどの公開により、同窓会活動を目に見えるものにしていきます。もちろん、同窓生はいつでも同窓会の活動に参加できます。運営メンバー募集中！！

情報の活用 / 会報とのリンク

同窓生の把握は同窓会にとっての生命線です。「住所変更」の入力フォームで、スイスイと変更届を送信することが出来ます。ご結婚 & ご出産の情報提供や、近況報告などの情報も大歓迎です。ホームページの即時性を活かして、他大学を見回してみても珍しい掲示板を試験運用いたします。もちろんこのホームページについての御意見感想もお寄せ下さい。

このホームページは、会報紙と密接にリンクした運用形態を取ります。ホームページで集めた情報は会報のために使われることもありますし、会報のために取材した情報は、ホームページで紹介されます。

メーリングリストにご登録下さい

<登録> するためには floatv-subscribe@mejiro-dousou.org に空メールを送信してください。

同窓会からのお知らせや、ホームページの更新情報を配信します。

< 学内ニュース >

3月19日に岩槻キャンパスの体育館にて卒業式が行われました。
地域文化学科138名・言語文化学科143名が岩槻キャンパスを巣立っていきました。

4月2日に東京厚生年金会館で岩槻キャンパス・新宿キャンパス合同の入学式が行われました。

人文学部：300名、人間社会学部：360名、経営学部：130名が新たに仲間入りとなりました。ちなみに人間社会学部は今年度で4学年すべてが揃い、経営学部は2期生が入学をしました。

前年度で退職をなさった方は以下の通りです。(敬称略)

《教員》 林 邦雄、田川 五郎、秋山 高志

《職員》 森杉 馨子、岸本 茂實、関 和育、保泉 恵利

編集後記

時は流れているようです。本屋で大学案内を読んでも、目白大学はすっかり東京の大学という位置づけになっている。まあ、本部は新宿だから不思議ではないけど。岩槻市は住民投票で「さいたま市との合併を目指す」という方向へ進むことになった。春日部という選択はしませんでした。同窓会のミーティングは仕事などの都合でほとんどが都内で開催。自分の中で岩槻というものがどんどん遠いものになりつつあります。そうこうしているうちに、岩槻キャンパスの人数を新宿キャンパスの人数が上回りはじめました。10年ですものね。それは色々なことがありますよ。

時は確かに流れましたが、同窓会とそれに関わる人々は、その分だけ進歩できたのかというと、そうでもないようです。時間の隔たり、距離の隔たり、考え方の隔たり……。様々な葛藤が周囲に渦巻いています。だからこそ、常に連絡を取りあい、議論を深めたいものです。卒業生と卒業生。卒業生と大学。岩槻と新宿。ネットワークは様々な角度から結ばれています。

この会報とホームページは、目白大学に関わる人の全てを繋ぐツールとして有効に使っていきます。そして、同窓会の作業は地味なことだからコツコツと。先は不透明ですが、どうせやるならば、楽しんでやったほうがいい。そういう思いを新たにしたい今日この頃です。(H)